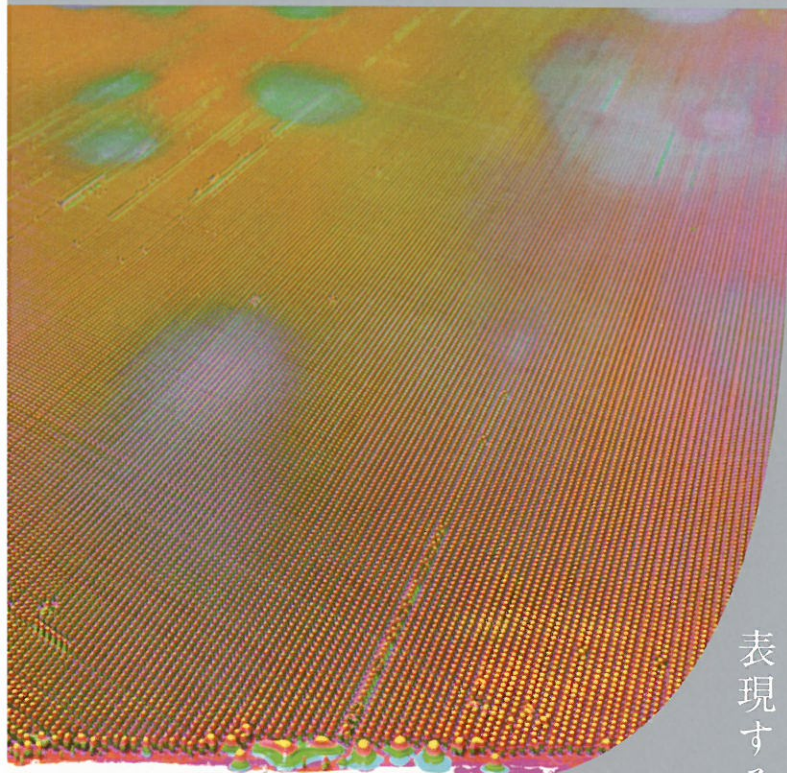


小野耕石
手塚愛子

佐藤亮太
灰原 愛

第四回
i氏賞 受賞家 展



よにんの素材が
表現する“今”。



第12回おかやま県民文化祭参加事業

2014年11月8日[土] - 12月14日[日]

[会場] 岡山県立美術館2階展示室 [主催] 岡山県立美術館

[開館時間] 午前9時 - 午後5時 ただし11月28日(金)は午後7時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

[休館日] 11月10日(月)、17日(月)、12月1日(月)、8日(月) ©11月25日(火)は特別開館日

左上:小野耕石 《Hundred Layers of Colors》(部分) 2014 右上:佐藤亮太 《Untitled》(部分) 2013 左下:手塚愛子 《H&Mのスカート#1》(部分) 2011 右下:灰原 愛 《虹を聴く》(部分) 2014



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

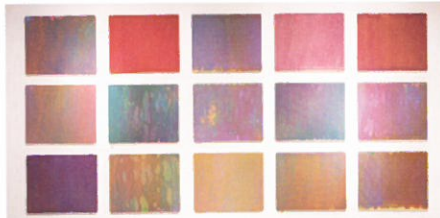
よにんの素材が
表現する“今”。

第四回
I氏賞 受賞作家展

岡山県立美術館では、岡山県新進美術家育成「I氏賞」の受賞者を紹介する展覧会を平成22年度から開催しています。「I氏賞」は、岡山県にゆかりのある新進作家を支援し、次代を担う美術家を育成することを目指して平成19年度にはじまりこれまでに大賞7名、奨励賞14名の作家が賞を受け、その後広く活躍しています。

本展では、平成21年度(第3回)・22年度(第4回)の「I氏賞」奨励賞受賞者の作品をご覧ください。シルクスクリーンの版を刷り重ね多彩な色層表現を提示する小野耕石、織物の糸を解き内にある構造や時間を空間に導き出す手塚愛子、絵画から立体へと繊細な感覚を展開させる佐藤亮太、若者たちのしぐさや心情を木彫に映し出す灰原愛——四者四様に素材の追求を重ね、若々しい感性と知性で新たな表現の可能性を引き出しています。今後ますますの活躍が期待されるよにんの“今”を感じていただければ幸いです。

《Hundred Layers of Colors》2014
(撮影 長塚孝夫)
《比花》2013
(撮影 大代写真事務所)



Ono Koseki



Tezuka Aiko



《縦糸を引き抜く〜五色》2001
(撮影 福永一夫)
《H&Mのスカーフ二枚目》2011
(撮影 未田雄)



《untitled》(部分) 2013
《untitled》(部分) 2013

Sato Ryota



Haibara Ai

《紅を織く》(部分) 2014
《紅をまつ》(部分) 2014



佐藤亮太
灰原愛

小野耕石
手塚愛子

【関連イベント】

◆ 出品作家によるギャラリートーク
11月8日(土) 14時から 会場:2階展示室
※要観覧券

【同時開催】

「もっと伝統工芸 備中漆」
11月8日(土)~12月14日(日)
「第61回日本伝統工芸展岡山展」
11月13日(木)~11月30日(日)

【開館時間】 午前9時~午後5時 ただし11月28日(金)は午後7時まで開館(入館は閉館の30分前まで)
【休館日】 11月10日(月)、17日(月)、12月1日(月)、8日(月) ◎11月25日(火)は特別開館日
【観覧料】 一般350円、大学生250円*、65歳以上170円*、高校生以下無料*
*年齢を証明できるものをご提示下さい ◎20名以上の団体は2割引
11月13日(木)~11月30日(日)の期間は「第61回日本伝統工芸展岡山展」のチケットでもご覧いただけます。

【交通案内】 JR岡山駅東口から
◎徒歩:約15分
◎路面電車:東山行「城下」下車 徒歩3分
◎宇野バス:四御神/瀬戸駅/片上方面行「表町入口」下車 徒歩3分
◎岡電バス:藤原団地行「天神町」下車すぐ

